

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	日本プラパレット株式会社					
代表者名	氏名	木村 聡	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県上田市富士山2412番地9					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	32 その他の製造業				
主たる事業の概要	プラスチックパレットの製造、販売					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	7,693	7,462	3,742	4,232	
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO <sub>2</sub>	14,327	13,897	6,946	7,837	
その他ガス排出量合計	t-CO <sub>2</sub>	0		0	0	
自動車の台数	台	2		2	2	
自動車からの排気ガス合計	t-CO <sub>2</sub>	0		0		

### 2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020 年度～	2022 年度
------	----------	---------

報告対象年度	2021	年度
--------	------	----

### 3 計画書（報告書）の公表方法等

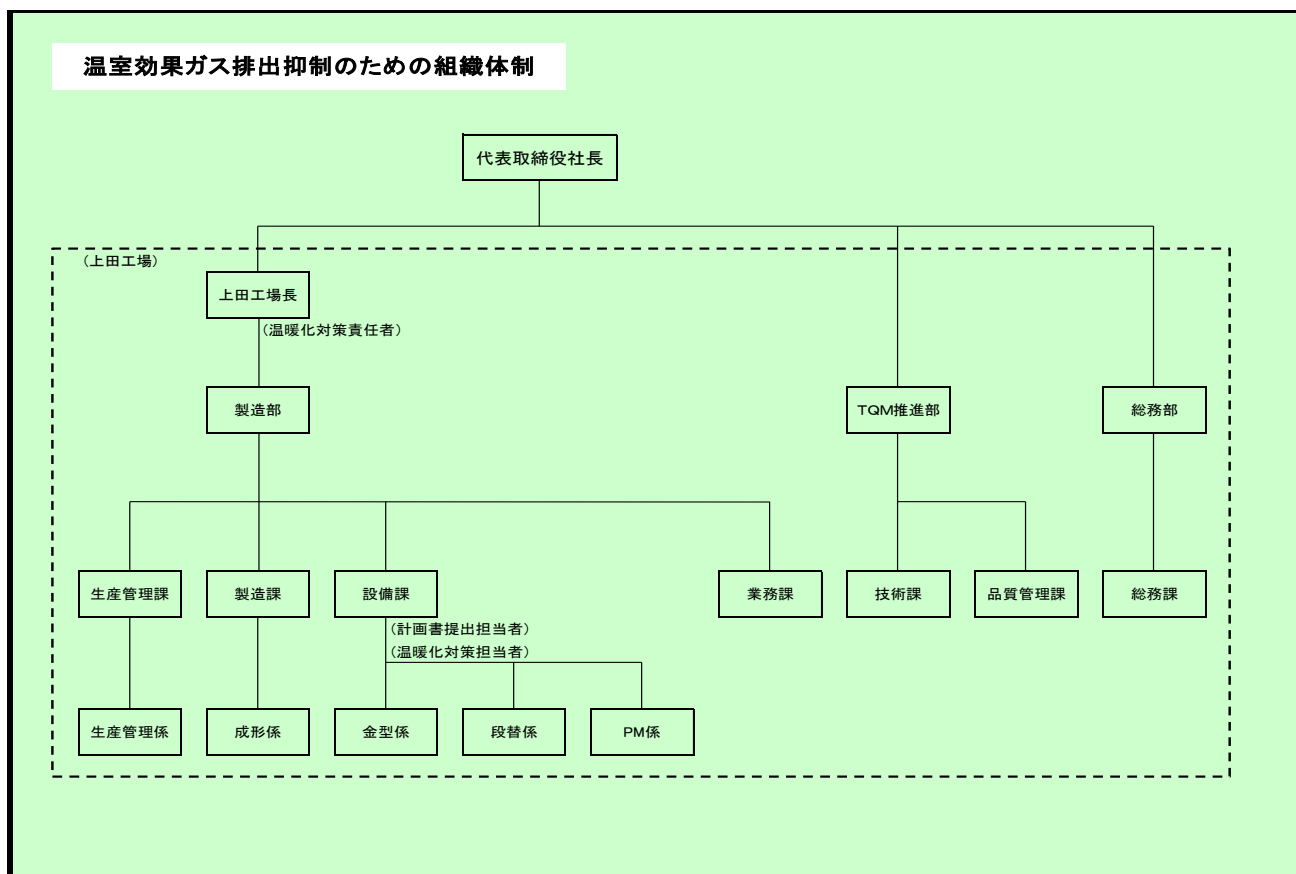
<input type="checkbox"/>	ホームページ	平日AM:10:00～16:00、製造部設備課まで 連絡先0268-38-8211
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号  
(総括票)

#### 4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

省エネルギー、廃棄物等の削減の為、目的、目標を設定し、毎年見直しをして、環境改善を図ります。

#### 5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



#### 5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

月1回の会議を開催している

様式1号  
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	14,327	t-CO <sub>2</sub>	生産数量	34.36	単位	千t
2019年度	調整後排出量	14,327	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	416.97	t-CO <sub>2</sub> /	千t
目標年度	目標排出量	13,897	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	404.46	t-CO <sub>2</sub> /	千t
2022年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	2019年度はパレット受注増を見越し、電動成形機を2台導入、稼働開始するが、予定通りの稼働に至らず。2020年度も電動成形機を導入するが、工事開始が遅れる。コロナ禍の影響で2020年上期は受注が激減、生産数量も大幅にダウン、景気回復が見込まれる事を期待する。よって、削減率は毎年1%削減となる。						
第一年度	排出量	6,946	t-CO <sub>2</sub>	生産数量	14.43	単位	千t
	削減率	51.51	%	原単位	481.36	t-CO <sub>2</sub> /	千t
2020年度	調整後排出量	6,946	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	-15.45	%	
	削減率	51.51	%				
排出量等の増減理由	コロナ禍で生産数量が前年比の半減以下となる。その中でも小ロット、多品種生産が主となり、又、製造部門も4直3交代から土日 を休日にして、月曜日からヒータ昇温するなど、余分な電気を使用した事により、原単位削減率は半減にはならない。						
第二年度	排出量	7,837	t-CO <sub>2</sub>	生産数量	17.30	単位	千t
	削減率	45.29	%	原単位	453.01	t-CO <sub>2</sub> /	千t
2021年度	調整後排出量	7,837	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	-8.65	%	
	削減率	45.29	%				
排出量等の増減理由	前年より生産量は約20%増加する。 第1製品倉庫の照明をLEDに変更						
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	生産数量		単位	
	削減率		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号  
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
2019年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2020年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2021年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定年度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	310200	主要設備等の保全管理	2020～2021	5	2020～2021	8
2	エネ起	310500	生産工程のエネルギー管理	2020～2021	10	2020～2021	12
3	エネ起	360703	コンプレッサーの運転管理	2020～2021	5	2020～2021	8
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	KW	634	0	634	634	

様式1号  
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	14,327	1	6,946	1	7,837		
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満								
合計	1	14,327	1	6,946	1	7,837		

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>	0	0	0	
CH <sub>4</sub>	0	0	0	
N <sub>2</sub> O	0	0	0	
HFC	0	0	0	
PFC	0	0	0	
SF <sub>6</sub>	0	0	0	
NF <sub>3</sub>	0	0	0	
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	2	2	2	
合計	2	2	2	0
自動車総数	2	2	2	
次世代車導入割合	100	100	100	

様式1号  
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	特に無し
自転車利用促進	特に無し
来客者の交通対策	特に無し
物流の合理化	特に無し

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		
	名称		
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄

親会社（三甲株式会社）がSBT参画を決め、当社はグループ会社として、2018年度を基準年として、2030年までの中間目標を決め、活動を開始した